



1月園だより

令和7年1月4日
目黒区立原町保育園園長

🌱 あけましておめでとうございます 🌱

昨年末に5歳児が作った鏡餅と花もちが新しい年を迎えてくれています。年末年始のお休みは元気に過ごせたでしょうか？普段できないお正月ならではのことも体験した子どもたちもいたことでしょう。

寒さの中ですが、ひだまりは暖かく、子どもたちも元気に外遊びをしています。先日、園庭の砂場で1歳児が穴掘りをして遊び終わったあと、4歳児が広げて大きな丸い穴にして“温泉”を作りました。底の方にはジャグジーの泡が出てくるところがあったり、上には、シャベルをさしてお湯の流れ出るところが作ってありました。「園長先生、入っていいよ」ということでザブンと入ると「ギリギリだね」と、大きな体がギリギリ入れた姿を見て満足そうに言っていました。そして、葉っぱを石鹸やシャンプーに見立て、最後はフープをバスタオルにして渡してくれました。「タオルはここに掛けてね」と最後まで丁寧に案内して楽しませてくれました。子どもは、イメージしたものを作り上げる天才です。自分が体験したことを遊びの中で展開していきます。今年も子どもたちが遊びの世界を十分に楽しめるよう大人もその世界を共有し、一緒に楽しみ子どもの思いに共感していくことを大切にしていきたいと思ひます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。



懇談会の予定

5歳児クラス懇談会

0歳児クラス懇談会

3歳児クラス懇談会

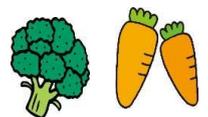
※ 懇談会は3階ホールで行います。

上旬…身体測定

中旬…避難訓練



～栄養士さん、調理さんに聞きました～



保育園で育てている野菜についておすすめの調理法や食べやすくなるポイントを聞いてみました。どの野菜にも言えますが、子どもたち自身で皮を剥いたり、ちぎったり、大人が料理する場面を間近で見る等、少し調理に関わるだけで子どもたちも食材（野菜）に興味を持ち、食べる意欲に繋がっていきます。ご家庭でぜひ試してみてください。

☆ブロッコリー☆

芯も茹でたり炒めたりして美味しく食べられます。芯の外側を厚めに剥くと食べやすいです。

☆カリフラワー☆

シチューやピクルスだけでなく、おかか和えやお浸しにしても美味しいです。子どもたちにも人気です。

☆人参☆

型抜きしやすい野菜なので型抜きにすると食べ具合も良いです。保育園の給食ではおろしてケーキに入れたり、魚のソースに使っています。



のびよう会を終えて

12月13日にのびよう会が行われました。

のびよう会を終えての各クラスの様子をご紹介します。



さくら組（3歳児クラス） 『もういっかいやりたいね！』

楽しみにしていたのびよう会を終え、後日、画用紙に経験画を描きました。「ドキドキしなかったよ」「カスタネットたのしかった」と、のびよう会を思い出しながら描き始めると、頑張った自分を画用紙いっぱい描く子、見てもらった事が嬉しくてお客さんをたくさん描く子、「さむそうだった」とお話のイメージを思い出して背景の雪を描く子、友達のを描く子など、一人ひとりが感じた場面を描いていて、頑張った気持ちや楽しかった気持ちが伝わってきました。衣装を身に着けて劇ごっこを楽しむ中で、他の動物の役にも憧れていたさくら組の子どもたち。のびよう会が終わってから乳児クラスに劇を観てもらう機会がありました。一人ひとり好きな動物と楽器を選び、当日とは違う動物になったり、演じた動物を選んだりしていました。本番を終えた安心感もあったようで、大きな声で堂々とセリフを言ったり、動物の動きや仕草を真似して楽しそうになりきっていました。「たのしかった！もういっかいやりたい！」という声が聞かれたり、他クラスの保育士に「楽しかったよ」「上手だったね」と声をかけてもらい、誇らしげな表情でした。行事を終え、心も成長した子どもたちです。



ぽぷら組（4歳児クラス） 『劇遊びの余韻を楽しみました』

のびよう会本番を終えてぽぷら組保育室に戻ってくると、緊張も解けてほっとした表情になっていた子どもたち。今日はお家の人を観に来てくれたね。どうだったかな？と聞いてみると「ドキドキしたけど楽しかった」「初めて感じた気持ちだった」「おっきい声でセリフ言えたー」と様々な声がありました。友達と一緒に楽しんだり、頑張った経験は大きな自信になっていくことでしょう。

後日、のびよう会当日とは違う役で劇遊びをしました。「私は“しじゅうから”になって〇〇ちゃんのセリフ言ってみたい」「カラスになって、ふくろうを追いかけて」「ふくろうになって（本番と）同じセリフを言いたい」と自分で役を決め、張り切って演じたりしてのびよう会の余韻も楽しみました。これからも友達と一緒にイメージして遊ぶことを沢山楽しんでいきたいと思います。



くすのき組（5歳児クラス） 『毒の草』

劇の題材になった絵本の中でニンジンが「毒の草」と言うキャラクターがいるので、給食にニンジンが出た時に「今日のご飯は毒の草の煮物です」と保育士がふざけて言うと「ね～！違うでしょ！」とみんなで笑ってやりとりしています。このやりとりは劇の取り組みが始まった頃から続いていて、今では保育士が「ニンジンの煮物です」と正しいメニューを言うと「今のは毒の草って言うところでしょ？」と言う声があったり「これ食べたら本当に顔がクチャクチャになるのかな？」「じゃあ、他のクラスの子も園長先生たちもみんな顔がクチャクチャになるね」「そんなの嘘だよ～」「後でみんなの顔見て来なくちゃ」と友達同士で絵本の内容をもとに話して大笑いしています。

みんなで協力して楽しく演じた劇の内容から友達や保育士との言葉のやりとりを楽しむ姿がたくさんあり、のびよう会の取り組みを経て満足感や達成感を持っていることも表情から伝わってきます。

